

新会員便り

岡崎保広

秋田県

入会挨拶

みなさん、こんにちは。このたび入会しました岡崎です。よろしくお願ひ致します。

さて、私は平成2年に保原事業所に入社、保原閉鎖後は小高の福島事業所勤務、東日本大震災と原発事故後は定年退職となる平成30年まで湯沢市にある秋田エプソンで働きました。

秋田エプソンにきた当初、あまりの雪の多さに福島事業所社員の一部からは「こんなところ、とても人間が住む所ではないな〜!」と、地元の人を前に平気で感想を述べていた方がいましたので、地元の人達には気分を悪くした人がいたかも知れません。しかし、湯沢市や隣の横手市は豪雪地帯であり、屋根の雪下ろし等で県内では毎年10人程度の死者が出ますし、3月となると地元の人

からも「もう雪かきは嫌だ」と愚痴さえこぼれます。尤も、今から50年くらい前は、冬になると二階から出入りしていたこともあったようで、地球温暖化のためか?最近では積雪が少なくなっているそうです。

秋田エプソンでの勤務は4勤2休。還暦間近ともなると体力的限界を感じながらも辛うじてゴールできました。定年退職記念には、職場の方々から樺細工入りの角館の小物入れと川連蒔絵グラスを頂き、現在も大切にしています。

定年後ですが、市内の秋の宮山荘で湯治、更に延命泉「新五郎湯」にも宿泊しました。

また、時間に余裕が



「力水(ちからみず)」(湯沢市)にて

出来たので、菅直人元首相の書いた「原発ゼロへの決意」と門田隆将著「死の淵を見た男」吉田昌郎と福島第一原発」を読み、NHKスペシャルメルトダウソン、レンタルDVDで映画「fukushima 50」を見ました。

確かに原発事故は大きな事故でしたが、幾つかの偶然により、あの程度で済んだ。それを菅元首相は「神の御加護」と表現しています。今日があるのも、幾つかの偶然と決死の決意で事故対応にあたった人達のお陰であることに感謝しなければなりません。

他には、秋田市の竿灯祭り、大曲の花火、羽後町の西馬音内盆踊りを見たり、男鹿半島や大館能代空港に行ったりしました。

面白かったものは明治時代から続く野中吉田栄楽一座による猿倉人形芝居で、現在も県指定無形民俗文化財として受け継がれています。見

ているとボケやツッコミ、ズッコケが入っていて、会場には笑いが絶えませんでした。こういった一座が、かつては秋田県には幾つかあったようですが、昭和となり映画、ラジオ等が台頭し、殆どの人形芝居一座、演目が途絶えてしまったのは残念です。

定年後2年以上経過しましたが、実はまだ秋田に住んでいます。秋田で美味しいと思

つたものは、ハタハタ寿司、味噌ラーメン、湯沢市三関産せりで作ったせり焼き、横手市増田町のりんご。三関のせりは、白く長い根の部分に香り成分があるのか?風味が良く、食が進みます。秋田県はコロナの感染が少なく、物価が安く、夏は福島より少し気温が低く、冬は適度な湿度があり、これらの点では住みやすいところだと思います。

これで冬の雪下ろし、雪かきが無ければ最高なのですが・・・

イベント便り

集いの会 福島地区

福島地区の「集いの会」は毎月第1週の日曜日にOB会事務所で開催しています。6月は6日に行いました。参加者は9名で、①今後の活動(パークゴルフ等)について②コロナワクチンの接種状況等③年齢に伴う体調管理等④仲間の近況・動向について話合



6月集いの会:OB会事務所

向について話し合いました。これからも皆様のご参加をお待ちしています。

集いの会 浜通り地区

浜通り地区の「集いの会」は原則毎月第3週の日曜日に銘醸館で開催しています。6月は20日に実施しました。参加者は13名で、①コロナワクチン

接種状況②パークゴルフ大会の計画③来年度の行事・活動計画・予算④その他、仲間間の動向等について議論、意見交換が行われました。

幹事会



6月集いの会:銘醸館

幹事会は年2回を基本に随時開催しています。前回に引き続きコロナ対策として5月9日保原中央交流館で開催されました。12名が参加し、①今後の活動対応②今年度の纏め、来年度の行事計画・予算③2021年度総会④その他、仲間間の動向等について議論、意見交換が行われました。



幹事会(5月):保原交流館

幹事会(5月):保原交流館にて議論、意見交換が行われました。